



2009
12月
第21号

しまばら 社協だより

SHIMABARA

発行 社会福祉法人島原市社会福祉協議会
本所 島原市霊南一丁目17番地
(島原市福祉センター)
TEL 0957-63-3855
支所 島原市有明町大三東戊1352番地1
(島原市有明福祉センター1階)
TEL 0957-65-9090
ホームページ <http://www.shimabara-shakyo.or.jp>
メール info@shimabara-shakyo.or.jp

「点検してもらって安心してました」

ガス・電気器具の安全点検

ボランティア・民生委員・社協が連携

社会福祉協議会では、民生委員協議会とタイアップし関係業者の協力を得て、ひとりぐらし高齢者家庭の安全点検と安否確認を目的に、10月21日にガス器具、10月28日に電気器具の安全点検を行いました。
この活動は平成13年から毎年行っており、今年で9回目となります。

ガス器具点検

西部ガス島原営業所と長崎県プロパンガス協会島原部会青年部のスタッフ15人が、ボランティアとして協

電気器具点検

島原電気工事協同組合青年部と九州電力島原営業所



▲ガスコンロを分解点検しながら高齢者と笑顔で会話をする点検スタッフ



▲担当地区を確認し点検の準備をするスタッフ



点検を受けた高齢者からは「自分ではできないので来ていただいて助かりました。これで安心して使えます」と喜びの声をいただきました。



▶蛍光灯を交換する点検スタッフとそれを見守る高齢者と民生委員

困ったら、悩んだら 心配ごと相談所へ

社会福祉協議会では福祉の相談はもちろん、あらゆる相談を相談員が丁寧にお受けします。

- ◆島原市福祉センター
(島原市霊南一丁目17)
電話64-7050
毎月第1・3火曜日 午後1時～4時
- ◆島原市有明福祉センター
(島原市有明町大三東戊1352)
電話65-9090
毎月第2・4水曜日 午後1時～4時

赤い羽根共同募金 小学1年生に黄色い傘を贈る



▲黄色い傘を受け取り記念撮影をする第一小学校1年生

10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金運動を実施していますが、島原市社会福祉協議会では募金の配分金を活用し、児童の健全な成長と交通事故防止を願い、毎年市内の小学1年生全員に黄色い傘を贈っています。
平成12年から始めたこの事業も今年で10年目になりました。
10月15日、市内の10校を代表し島原市第一小学校で黄色い傘の贈呈式が行われました。
贈呈を受けた第一小学校1年生の児童らは「ありがとうございます。大切に使用します。大きな声でお礼を述べてくれました。」

ひとり暮らし高齢者 会食会 地区社協が行う

各地区では、ひとり暮らし高齢者と地域の方々との交流を目的に、会食会が行われています。

この食事は地区社協の活動として、民生委員協議会・町内会自治会連絡協議会・婦人会などが協力し、開催時期や調理担当、運営責任者などの役割分担を決め、自分達の町は自分達の手で良くしていこうという意識のもと進めています。
食事の後は唄や踊りの他、クイズやゲームを行う地区もあり、各地区で思考をこらした会となっており、参加者の「一人で暮ら



している人と誰とも話さない日があるので、この食事はみんなが食事ができるようにしています。」という言葉に、関係者は会の大切さを改めて実感しました。

有明地区では配食

また、有明地区では12月8日にひとり暮らし高齢者を対象に配食サービスを実施。217人に手作りのお弁当が配られました。
高齢者から「とてもおいしかった。毎日の食事に注文をしたいくらいだ。」と喜びの声がかれました。



▶高齢者宅を訪問し弁当を手渡す民生委員

ろうあ者の生活を学ぶ

手話講習会 特別講演を開催

手話講習会を受講中の方を対象に10月15日、手話講演会を島原市福祉センターで行い約30人が参加しました。



講話する平田保宏先生



平田先生の講話に真剣に耳を傾ける参加者ら

講師に長崎県ろうあ福祉協会の平田保宏先生を迎え「聴覚障害者の暮らしと手話の基礎知識」というテーマで、手話の歴史や生活上の困りごとなど、ろうあ者である平田先生の体験談をまじえたり、参加者にジェスチャーで言葉を表現してもらったりしながら、分か

りやすく話していただきました。聴覚障害者は、肢体障害者や視覚障害者と違って、見ただけでは分かりにくい障害で「聞こえない」ということを理解してもらおうのが大変です。周囲の人は手話ができなくても身振りや筆談などで、ろうあ者とコミュニケーションをとってほしいと話されました。参加者は「ろうあ者の生活を知るきっかけになり勉強になりました。」「一つの単語でいろいろな意味を持つていて、手話は奥深いと思いました。」などの感想を述べていました。なお島原市社会福祉協議会では毎年5月から2月まで手話講習会を開催しています。手話を学んでみたい方は社会福祉協議会にお問い合わせください。

高齢者と交流 島原工業高校で 郷土料理講習会

11月18日と20日、島原工業高校で地域の高齢者をまねいて、郷土料理（具雑煮と寒ざらし）作りを行いました。

この講習会は家庭科授業の一環として、地域の高齢者とのふれあいを通し高齢者を敬う気持ちを養うことと、郷土料理の食材と作り方を知り、食文化の伝承を目的に実施されています。2日間合わせて約40人の高齢者の指導のもと、機械



～お知らせ～

オウム真理教犯罪により被害を受けた方・ご遺族に給付金が支給されます。

- 申請期限
平成20年12月18日から2年間
(期限～平成22年12月17日まで)
 - 支給対象
オウム真理教による犯罪行為により
 - ・亡くなった方のご遺族
 - ・障害が残った方
 - ・傷病を負った方
- オウム真理教による犯罪行為とは
地下鉄サリン事件・松本サリン事件
その他法律に定められた犯罪に限ります
- 支給に関する問い合わせ先
長崎県警察本部警務課
犯罪被害者支援室
電話095-829-0447

ホームページ開設から1年！！

平成20年12月17日の島原市社会福祉協議会ホームページを開設からまもなく1年になります。もうご覧になりましたか？これまでの広報紙（しまばら社協だより）による情報の発信に加え、ホームページを活用することでより多くの情報が提供できるものと考えています。社協の事業内容の紹介や、広報紙等の閲覧が可能です。今後、少しずつ内容を充実させながら、最新の情報を提供していきますので、ぜひご覧下さい。アドレス <http://www.shimabara-shakyo.or.jp> または「島原市社会福祉協議会」で検索してください。



要約筆記 基礎課程

12人が修了証書を手

要約筆記奉仕員養成講座（基礎課程）閉講式を11月28日に行い、12人が修了証書を手に入れました。今回は閉講式の中で、受講生の一言スピーチに対し他の受講生がOHPを用いた要約筆記を行い、基礎課程で学んだ成果を披露しました。

受講生は講師からの突然の一言スピーチの提案に、あわてる場面も見られましたが、「要約筆記の3原則『速く・正しく・読みやすく』を今後も忘れないようにしたい。」「応用課程にも



社会福祉事業への寄付

ありがとうございます

平成21年9月18日～平成21年12月7日
(敬称は略させていただきます)

原賀キクエ	蛭子町二丁目	野崎享助	前浜町	平尾明	堀町
入江仁司	高島二丁目	小畑文博	下折橋町	園田継絆	緑町
佐藤 傳	緑町	森川政則	湊道二丁目	松田俊司	万町
川鍋正晴	福岡市中央区	佐藤泰造	緑町	石本幸紀	稗田町
林田三枝子	南崩山町	三村勝義	山寺町	本多義一	本町
佐藤 宏	浦ノ川	吉井テル子	新馬場町	山下由紀子	下折橋町
樋本文江	亀の甲町	田島万裕	湊道二丁目	塚本 勝	大下町
北浦正高	稗田町	片山義文	杉山町	杉本龍英	中町
北浦君代	油掘町	中川恵勝	上の町	友成友子	萩が丘二丁目
前田昌洪	靈南二丁目	杉永アイ子	中尾町	有馬トキ子	秩父が浦町
鳥飼マス子	湖南町	本多静恵	南崩山町	長岡スイ子	上の原三丁目
本多公助	南下川尻町	本田泰敏	湊町	岸田明広	大三東乙
		細山卓爾	下川尻町	小田新一	湯江丁
		平山 稔	寺町	古川貴一	大三東乙
		宇土文弘	柏野町	吉田政輝	湯江甲
		井上 誠	中堀町	伊達カズ子	大三東丙
		酒井茂乗	下折橋町	金子ツナ	大三東丙
		坂口靖子	桜門町	植木靖久	白山町
		北島トミコ	大三東丙	天野和彦	湖南町
		村里貴久	湯江甲	宮地光晴	筑紫野市
		井川貞一郎	湯江丙	本多久剛	萩が丘一丁目
		加末房子	湯江甲	諸田幾男	有馬船津町
		森田正人	湯江丙		
		石川千代子	大三東甲		
		伊達義明	湯江甲		
		早崎勝洋	弁天町二丁目		
		雁住 靖	新山三丁目		
		森田金盛	新馬場町		
		龍山不二男	山寺町		
		大町節子	下新丁		
		田浦みさ子	大手原町		
		廣瀬利文	蛭子町二丁目		
		松本たえ子	原町		
		徳永陽子	城西中の丁		
		本田正美	三合町		



一般寄付

一円玉寄付

- 永野浩伸 福岡市西区
遊陶会
島原市母子寡婦福祉会
- 加藤勝彦 弁天町一丁目
三浦英子 城内三丁目
上田 新山一丁目
岩本初義 大三東甲
織田正美 湯江丙
欽 信秀 新町一丁目